令和２年度　小諸野岸幼稚園　「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

１．園の教育目標

⑴　明るく元気に遊べる子ども　⑵　身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども

⑶　豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども　⑷　自分から挨拶し、人とかかわれる子ども

２．本年度の重点目標

「あそび」…　いろいろな遊びを知り、人とかかわりながら夢中になって遊ぶ。

「しぜん」…　自然に対する感性を高める。ふしぎ・発見・調べ活動、話し合い活動。

「おはなしの日」…　聞く姿勢、集中して聞く。本に対する興味関心。感じたことを発表・表現する。

「あいさつ」…　あいさつ集会で場に合ったあいさつを知る。大きな声で元気にあいさつし合う。

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	C
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	C
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

１．学校関係者評価委員(モニター)からの評価

（1）保護者の方々から信頼される園運営をしていただいている。しかも、子どもの姿を通して感じている人が多く、園長先生をはじめ、職員のみなさんの丁寧な対応の評価だと思う。

（2）「こんにちは」と子どもも先生も明るく挨拶してくれる。保護者の挨拶も良い。園目標が生きている。

（3）教育課程における職員の評価がＣとなっているが、コロナ禍で何が大切なことかを見返す中で、自然に共通理解が深まっていくと思われる。

（4）ホームページの更新については、やはり少ないように思える。今の保護者はスマホで情報を得る方が多いので、「楽しそうな園」だと思ってもらえるように、こまめに更新する必要がある。

２．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

（1）挨拶の取り組みの成果が表れてきている。今後も野岸の教育の柱である「あいさつ」「あそび」「しぜん」「おはなしの日」に力を入れて進めていきたい。

（2）野岸の良さは、職員の明るく元気な姿、丁寧ななかかわり、園の温かい雰囲気、教育の素晴らしさである。今後も野岸の良さを共通理解しながらかかわっていきたい。

（3）ホームページ等の頻繁な情報発信をしていく。

ホームページによる園児の姿や教育内容の発信、ポスター・チラシの各施設への配布。地域の回覧板の活用。

（4）「のぎ友パーク」は継続し、子育て支援ニーズの把握や園児募集のために活かしていく。